



まちづくり活動が盛り上がるよう、市などが行う支援事業や、まちづくり団体、サークルなどを紹介します。
詳細：まちづくり推進課 ☎ 058-383-1997



陵南太極拳クラブ

陵南太極拳クラブは、7人でわきあいあいと楽しみながら、太極拳などを行っています。随時会員を募集しており、見学も可能です。ぜひお越しください。

活動日時 火曜日 9:00～11:00

場所 東ライフデザインセンター

費用 月 1000 円

申込・詳細 小川 ☎ 090-5118-1734



もーやっこサークル

「もーやっこ」とは「共有する」という意味の方言です。互いの可能性が広がることを期待し、交流・協働機会を提供しています。令和6年5月には17団体が、各務原市民公園で防災イベントを実施しました。令和8年度も防災イベントを開催する予定です。興味がある方は、ぜひお声かけください。

詳細 まちづくり推進課



夢をカタチに

～このまちで、挑む～

小・中学生の皆さん、どんな夢を持っていますか？このコーナーでは、このまち「各務原」で夢をカタチにするために、起業した方を紹介します。
詳しい内容は、市の移住定住ウェブサイト「OUR FAVORITE KAMIGAHARA」で公開しています。こちらもぜひご覧ください！



子育て相談に応じる大野さん

Q どんな仕事をしているの？

助産師として、妊娠中から産後まで、継続してお母さんと赤ちゃんのケアをしています。また、11月からは、「赤ちゃん食堂」も始めました。

Q 仕事で大切にしていることは？

お母さんたちが笑顔で子育てできるように、どんなに忙しくても、笑顔で楽しく接することを大切にしています。



にこ助産院

大野 祐希 さん

Q なぜ各務原を選んだの？

祖父母の家が川島地区にあり、堤防に座って見る木曽川の景色が大好きでした。今も、助産院から見える木曽川に癒されています。

Q これからの目標は？

お母さんたちが安心して出産・子育てができるようにしたいです。そのために、助産師が「継続ケア」できる環境を広めていきたいです。

11/4 初心者向けスマホ教室を開催

市がSNSやウェブサイトで発信する情報などを活用してもらうため、初心者向けスマホ教室を開催。スマートフォンも取り扱うケーブルテレビ局CCNetの職員から、LINEで市の情報を受信する方法などを学びました。

緑苑西の大原セツ子さんは、「説明が丁寧で分かりやすく、参加できてよかったです」と、笑顔を見せました。



11/5 合同集団救急事故対応訓練を実施

傷病者が多数発生したと想定し、市消防本部と東海中央病院が、合同訓練を実施。現場に到着した救急隊の初動活動やトリアージをはじめとした傷病者対応の訓練、傷病者を受け入れる院内活動訓練などを行いました。

田中副市長は「事故が起きた際に的確に対応できるよう、学んだことを振り返ることが重要です」と、訓示しました。



12/4 蘇原自然公園の雪景色

今号は、市民カメラマンの手塚朗さんの写真をご紹介します。市ウェブサイトでは、たくさんさんの写真を公開中。ぜひご覧ください。

蘇原自然公園はまだモミジが散り残っていて、紅葉の紅と雪の白、そして時折のぞく空の青の対比が見事でした。



第41回全国青年技能競技大会 銀賞受賞

さとう 佐藤 啓介さん 一級建築士の資格取得を目指しています。休日は、子どもと公園で遊んで、息抜きしています。

ものづくりは、努力した分だけ形が残ることが魅力

昨年開催された、建設分野の技能のレベルを競う「全国青年技能競技大会」が、那加新加納町在住の佐藤啓介さんは、今大会で念願の受賞を果たしました。「支えてくれた家族や職場の人たちへの感謝の思いが溢れました」と、受賞した瞬間の心境を語りました。

父親が神社や寺院を建てる宮大工をしており、自宅に工場もあったことから、佐藤さんは、端材で積み木遊びをするなど、幼少期からものづくりに親しんで育ちました。高校の建築科を卒業後、建設会社に就職。社長の勧めで、青年技能者の大会に出場しました。「最初に大会に出場した時は、周りの出場者の技術力の高さに圧倒されました」と、大会のレベルに驚いたと話

します。

出場制限年齢の36歳を迎えた今回の大会の課題は、6時間の制限時間で踏み台を作成するというもの。暑い夏の時期も、仕事終わりの休日に、会社の工場で大会の課題となる作品の制作を続け、技術を磨いていきました。今回の挑戦で銀賞を受賞した佐藤さんは、「金メダルが取れず悔しい気持ちもあります。それでも目標としていた賞を取ることができ、ほっとしました」と、大会を振り返ります。

今後は、若い大工の育成に力を注ぎ、担い手不足となっている建築業界全体を盛り上げたいと、佐藤さんは意欲を見せます。この大きな目標に向かって、これからも努力を続けていきます。

